

下地調整用2成分混合型カチオン性ポリマーセメントモルタル



ボンド CATプレミックスモルタル

ボンドCATプレミックスモルタルは、2成分混合型の下地調整用モルタルです。カーボンファイバーや防錆材を含んだプレミックスタイプであるセメントの主剤と、カチオン性アクリル樹脂エマルジョンの硬化剤を、現場で混合して使用します。カチオン性による付着性としごき性に優れたモルタルで、コンクリート構造物などの広い面積を対象とする下地調整に適しています。

■用途

- コンクリート、モルタル面、ALCおよびPCaパネルの不陸調整。
- コンクリートおよびモルタル補修時の下地調整。

■特長

- 薄塗り**：ドライアウトがなく薄塗りができ、下地調整に効果的です。
- 耐久性**：カーボンファイバーを配合し、物性および耐久性に優れています。
- 防錆剤配合**：カチオン性アクリル樹脂と防錆剤を配合し、躯体の保護性能を高めています。

■性状

項目	品名	主剤	硬化剤
主成分		カーボンファイバー、防錆剤配合 プレミックスセメント	カチオン性 アクリル樹脂
外観		灰色粉体	乳白色エマルジョン
混合比		主剤：硬化剤＝20：4（質量比）	
比重(混合物)		1.90±0.20	
可使用時間		約40分（20℃）、約20分（30℃）	

※性状は改良のため予告なく変更する場合があります。数値は規格値ではありません。

■施工方法

下地処理	コンクリート、モルタル面のレイトランスやホコリなどを取り除きます。健全な下地でも、油脂類が付着している場合は削り取り、その後、水洗します。
プライマー塗布	エポキシ樹脂系プライマーE200Pまたはセメント系カーボニックプライマーを塗布します。
CATプレミックスモルタル混合	CATプレミックスモルタルの主剤と硬化剤を、20：4（質量比）の割合で計量し、モルタルミキサーやドリルミキサーなどで十分に混練します。一度に混練する量は、可使用時間以内に使いきれの量にしてください。
CATプレミックスモルタル塗布	金ゴテで表面を均一に仕上げます。夏季は20分、冬季は40分以内に使い切ってください。
養生	エフロレッセンス防止のため塗布後7日以内は雨水がかからないように養生してください。
仕上材等塗布	

- 直射日光が当たるような下地温度の高い所では、水打ちをして表面温度を下げてから施工してください（ドライアウト防止）。
- 原則として3℃以上の環境でご使用ください。凍結したり硬化性に問題が生じる場合があります。
- 皮フや器具類に付着したものは、乾く前に水でよく洗い落としてください。
- CATプレミックスモルタルを露出した状態で使用すると、表面にエフロレッセンスを生じる場合があります。

■技術データ

1. JIS A 6203-1996 品質規格に基づく試験〔社内試験結果〕

試験項目	試験結果	JIS規格値
曲げ強さ (N/mm ²)	9.2	5.0以上
圧縮強さ (N/mm ²)	26.8	15.0以上
接着強さ (N/mm ²)	2.0	1.0以上
吸水率 (%)	3.0	15.0以下
透水量 (g)	8.0	20以下
長さ変化率 (%)	0.080	0~0.150

※養生：20±2℃、(60±10%) 28日間

2. 下地に対する接着強さ (測定値例)

下地被着材		CATプレミックスモルタル		プレーンモルタル	
		常態	耐水	常態	耐水
引張接着強さ (N/mm ²)	JISコンクリート平板	2.06 (C100)	1.23 (C50, M50)	0.62 (A100)	0.37 (A100)
	密粒アスコン	0.82 (C100)	0.76 (C100)	0.50 (A100)	0.15 (A100)
	スレート板	1.96 (C100)	1.16 (C100)	0.52 (M100)	0.10 (A100)
	磁器タイル	1.17 (C100)	0.66 (A100)	0.37 (A100)	0.17 (A100)
	磨き鉄板	1.04 (A100)	0.58 (A100)	0.27 (A100)	0.11 (A100)

※試験方法：建研式引張試験機による引張接着強さ

※ () 内は材料破壊率% (C：下地材料破壊、M：モルタル材料破壊、A：界面破壊)

■積算例

CATプレミックスモルタルの使用量の目安
●1セット (20kg+4kg) で施工できる施工量の目安

塗り厚 (mm)	1	2	3	1m ³ (1000L) 当たりの質量	1セット(24kg) 当たりの容量
施工量 (m ²)	約12	約6	約4	1900kg (約80セット)	約12L

■梱包容量

●CATプレミックスモルタル：24kg〔12L〕セット
 (主 剤) プレミックスパウダー：20kg袋
 (硬化剤) プレミックス硬化剤CAT18L：4kgポリ容器
 ※主剤と硬化剤は別梱包

■注意事項

本品は、下記の注意事項を守って取り扱ってください。

●取り扱い中は皮フにふれないように注意し、必要に応じて保護具を着用する。●容器からこぼれないように出し入れする。●硬化剤が容器からこぼれた場合には、砂を散布したのち処理する。●取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。●皮フに付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。●眼に入った場合には多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。●誤って飲み込んだ場合には、早急に医師の診察を受ける。●温度が2~40℃の場所を定めて保管する。硬化剤は凍結に注意し使用後は密封する。主剤は湿気のある場所での保管を避け、また開封後は速やかに使い切る。

※使用にあたっては、製品安全データシート (MSDS) をお読みください。

国際単位系 (SI) による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10⁻²J、1MPa=1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社

ボンド事業本部

本 部 / 大阪市中央区平野町2-1-2 (沢の鶴ビル) 〒541-0046 TEL06(6228)2961 FAX06(6228)2927
 東京支店 / 東京都千代田区神田錦町2-3 (竹橋スクエア) 〒101-0054 TEL03(5259)5737 FAX03(5259)2144

名古屋支店 TEL052(262)8173 FAX052(262)8175
 福岡支店 TEL092(551)1764 FAX092(551)1545
 札幌支店 TEL011(612)0211 FAX011(612)0219

仙台営業所 TEL022(211)5031 FAX022(211)4990
 北関東営業所 TEL027(324)3002 FAX027(324)1187
 厚木営業所 TEL046(229)9610 FAX046(229)9636

金沢営業所 TEL076(223)1565 FAX076(223)4794
 広島営業所 TEL082(507)1911 FAX082(507)6676
 高松営業所 TEL087(835)2020 FAX087(835)4623

EテW03-03



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

CATプレミックスモルタル

1996.11.3000(O)69-FD
 1999. 5.3000(O)58-FD
 2002. 8.3000(T)54-FD